
世界を旅するチート幽霊

一石二兆円

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

世界を旅するチート幽霊

【Nコード】

N4320P

【作者名】

一石二兆円

【あらすじ】

テンプレのごとく死んだ主人公、しかし彼が選んだのは転生ではなく…

主人公ステータス（ネタバレ有）（前書き）

主人公の一人称は僕または、わたしです。

主人公ステータス（ネタバレ有）

さいぎょうじゆうり
西行寺幽梨

性別 女（生前は男）

年齢 見た目6歳 精神18歳でも性格は若干幼い

見た目 幽々子を小さくし黒髪にした感じ（精神が近いため似た姿となった）アリスに人形を作ってもらいそれにいつもは憑依している。

能力 魂を操る程度の能力

その名の通り魂を操ることができる。また幽霊を従えることができる（自分も対象内）従えた幽霊は、
霊魂玉と言う玉の中に入れられる。

また、自分を従えると言うのは、熱き魂にすると熱血になるというように性格を変えられることである。

ステータス F a t e 風○内は霊体化時の能力

クラス ゴースト

霊力 A +（E X）

筋力 C（S +）

耐久 A（E X）

俊敏 D (S+++)

幸運 B (A+)

宝具 EX (EX+)

クラススキル

霊体化 EX

霊体化し見えなくなる。このクラスだと、サーヴァントでも気づかない。

すりぬけ A

どんなに厚い壁でもすり抜けられる。(EXだと世界の境界をすりぬける)

固有スキル

東方 EX

スペルカードを無限に使える。

結界 S

かなりの結界（破壊に宝具が3つ必要）が張れる。

カリスマ A++

霊が相手だと効果が上がる。（幽々子などはS+）

憑依 S

相手にとり憑く（ステータスがあるものだとそのステータスになり、無い物はもとのステータスから若干下がる）

剣術 A

妖夢に習った剣術

宝具

四力幻想 EX しりよくげんそう

霊力・魔力・妖力・神力の4つの力を秘めた刀。4つに分けられる。力はそれぞれ幽々子・魔法使い3人組・紫・守矢の神にもらった。

霊魂玉 EX+

今までに従えた霊の力を弾にし発射する。霊を入れた分だけ威力が上がる。

固有結界

永遠の亡霊戦隊∞

霊魂玉の中に入れた霊をすべてサーヴァント化し呼び出す。

流派（剣術の流派）

魂魄流

妖夢に習った。技は妖夢のスペカなどを参照。

西行我流

自分で作った流派でありまだ技はひとつしかない。

魂魔霊天散 こんまれいてんさん

洒落なのかコンマ0.3秒で斬れる。範囲は360°。半径30mである。

主人公ステータス（ネタバレ有）（後書き）

この小説は作者の思いつきで書いているので不定期更新になります。

プロローグ〜大体転生者ってハーレムが多い気がする〜

こんにちは、僕は幽梨です。いきなりですが僕は死にました。歩道を歩いているとメチャクチャな運転のトラックが人を轢きまくってました。

轢かれた人の中には「テンプレ乙」と言っていた人もいましたが。そのトラックが轢いた人に駆け寄ろうとすると、なんと！少女が轢かれそうになっています！

この状況だとお分かりだと思いますがその子をかばって死にました。はい。

「あーもう敬語めんどくさい！とりあえずここは何処だよ！」
すると横で

「いよっしゃー！転生フラグ！これでなのは達を…」
という声が聞こえたので横を見るとさっき轢かれた「テンプレ乙」と言った奴が。

他にも数人いるけど似たようなことしか言っていない！
すると突然

「どうもすみませんでしたーっ！」
と言う声がきこえたので見ると、ダンブルドアみたいな爺さんが…土下座をしていた。

「この度は皆様を間違えて殺してしまいました。本当にすみませんでしたあっ！」

「てことは」「おいジジイ!!!」「うわっ！」びっくりした

いきなりしゃべるな！

「」「俺を能力つけて転生させろ!」「」
どう考えてもテンプレすぎんぞお前ら。

「ひいひい！分かりました！」

「俺ははやての10万倍の魔力と強力なデバイスをよこしてリリなのに転生させろ。あとイケメンにしろ。」

チートだね。あと目的丸分かり。

「はっはい！」

びびりながら承諾する爺さん

「俺は全サーヴァントの全能力で、でもって無限に金が出る財布をくれ、家やら買うから。」

まあさっきのよりはしっかりしてるかな。

「で、世界h「ネギまで」分かりm「これであの薬味のフラグを…」」

最後まで言わせてやれよ。目的もさっきのとほぼ同じか。

「おれは（中略）f a t eで」

「じゃあ俺はb（省略）」

「（全略）」

こいつらロクなのいねえな。ハーレム・戦闘狂・下衆って。

「あなたはどうなさいますか」

え？僕？

「はい、そうです」

「心を読まないで！」

すみません！と謝る爺さん

「分かったからそんなに謝らないで！」

「はい・・・」

他の奴らはもう行ったようだ。

「あなたさまはどうなさいますか？」

「思ったんですがどちらさまですか？」

「私はしょせん神と言うものです。まあ私は生命神と言う者です。この度は、私が所有している転生トラックが暴走してしまいあなた達をまきこんでしまいました。本当にすみませんでした。」

「いえ、いいですよ。ところで転生以外の事って出来ますか？」

「と言うと？」

「いえ…ああもうめんどくさい。つまり転生しない選択肢があるかってことだ。」

まあ、これは自分の希望だけどね。

「いけますよ。「ほんとですか!？」ええはい。」

よし!これで2度と死なずにすむ!

「じゃあ僕を絶対に成仏しない幽霊にしてください!」

「ホッホ分かったよ今からそうするよ。あとこれが私の素だ。」
すると自分の体が軽くなる。あと爺さん、キャラ変わりすぎだ。

「では君は今から知り合いの幽霊の養子になってもらおう。後、魂の形が変化したぞ。」

よく見ると視点が低くなってちよつとだけ膨らんだ胸が…胸?

「ってなんじゃこりゃああ!」

「君は女の子になったぞ。」

テレレレレーン! 幽梨はオンナノコになった!

・・・なんか電波が：

「何故！？」

「ちなみに養子になる家は西行寺家じゃ。幻想郷ですか！？」

「うむ、そうじゃ。」

「だから、心を読むなあああ！」

そしてその日、僕はめでたく西行寺幽梨になった。

「あと幽霊になったからか能力がついとるぞ。」

「はあああああ！？」

プログ〜大体転生者ってハーレムが多い気がする〜（後書き）

早めのアンケートです。まずは幻想郷に行くわけですが、次の世界は何処がいいでしょう。

？リリなの

？ネギま

？f a t e

？その他

よろしくおねがいします

1話／基本的に大人の話は長い、そう校長先生のお話のように／

「というわけで君の能力は『魂を操る程度の能力』じゃ幽梨です、ただいま能力の説明を聞いてます。」

「チートですね。」

「そうじゃな」

神から見てもチートなようです。

「何がチートかと言うと簡単に言うと死者蘇生ができる。」

へえ：え？

「ええええええええええ！」

死者蘇生いいいい！？

「うむ、体さえあれば死者蘇生ができる。」

神様さりげなく心読みましたね

「ちなみに君の願い事はちゃんとかなえておいたぞ。」

「ありがとうございます」

「うむ、あとは幽霊になったから『憑依』と『すりぬけ』ができるぞ」

何かと使いやすそうだなそれ。

「む？迎えが来たようじゃぞ。」

「え？」

向こうから水しぶきを立ててこっちに鎌が…って鎌？

「爺さーんむかえにきたぞ」

「うむ、ご苦労じゃ小町」

こうして神様と分かれた僕……やっぱ私にしよう。私は、白玉楼にむかうのであった。

1話〳基本的に大人の話は長い、そう校長先生のお話のように〳(後書き)

アンケート

〴りりなの

〴ネギま

〴fate

〴その他

あと転生者の名前とか(できれば負け犬っぽいのもお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4320p/>

世界を旅するチート幽霊

2011年10月8日05時44分発行